

令和4年度 国語科「現代の国語」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科1年1～7組 国際人文科8組
教科書	『新 現代の国語』（三省堂）	副教材等	最新国語便覧(浜島書店)・漢字ボックス(浜島書店)

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	自分の思いや感情を適切に言語化することで、思いや感情を明確にしたり、深めたり、望ましい方向にコントロールしたりする力を養う。	「言葉と声で表そう」	・世界を言葉と声で表す	写真を見て想像力をはたらかせ、石仏がなんと言っているのか、「せりふ」について気持ちがそれぞれ伝わるように言い方を考え二人組やグループで、自然なやりとりになる言い方を見つける。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
5		「伝え合いに大事なことを考える」	・情報を読み解く	相手との伝え合い（コミュニケーション）では何が重視されるのか、考える。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
5		「届く言葉、届かない言葉」	・情報を要約する	文章を読み、概要を把握し、主張と事例の関係を捉え直す。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
5		「わかりあえないことから」	中間考査	1 二つの文章を読み、それぞれの内容を要約する。 2 二人の筆者のコミュニケーションに対する考え方の特徴を指摘する。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
6		「聞く力」	・情報を吟味する。	「情報はつくられる」を読み、「情報はつくられる」とはどういうことか、考える。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
6	情報の質と量に関し、情報の信頼性・妥当性や論理性、目的との整合性等を考察し、情報を整理・構造化して表	「情報はつくられる」	・情報と適切につきあう。	「ひとまず、信じない」とあるが、なぜ「ひとまず」なのか考え情報と適切につきあう方法について話し合う。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
7		「ひとまず、信じない」	・情報を適切に編集する。	情報を適切に扱うにはどうすればよいかについて、「情報はつくられる」「ひとまず、信じない」なども参考にしながら考える。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
7		「情報を編集し、的確に発表する ―パブリックスピーチ」	・情報を集めて選ぶ	筆者の考える、災害情報が避難に結びつかない理由を整理する。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
7		「人が死なない防災」	・情報を整理する。	期末考査	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
9	テキスト（音声、文字、映像等を含む）の内容や展開、それらに含意された意味を、論理や既存知識に基づいて、吟味、補足、精緻化を行い、解釈すカ	「読むことのレッスン」	・情報を分析・評価する	文章を読み、概要を把握し、事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
10		「水の東西」 「コインは円形か」	・説明の方法を理解する ・さまざまな視点から情報を捉える	それぞれの部分で、筆者の主張がどのような文章中から「問題」「結論」「理由」の要素を読み取り、筆者の主張をつかむ。	<行動の観察/記述の確認/定期考査> <行動の観察/記述の確認/定期考査>
			中間考査		

11	既成の概念と異なる新しい問いを立てたり、他者と異なる発想や主張を独自の論理や表現によって確立したりする力を養う。	「中身当てクイズ」 「読み比べる ー海ガメの無念」 「構成や展開を意識して発表する ープレゼンテーション」	・根拠を明確にして考えを伝える ・表現の仕方に注意する。 ・相手を意識して自分の考えを伝える	概要を確認し、各自でクイズの答えをグループやクラスでクイズの答えとその根拠を交流する。 それぞれの文章の特徴を、構成と表現に着目して比較して表などにまとめ、グループなどで報告し合う。 プレゼンテーションのフリップと発表原稿を作成する。	<行動の観察/記述の確認/定期考査> <行動の観察/記述の確認/定期考査> <行動の観察/記述の確認/定期考査>
12		「折々のことば」	・引用の目的やはたらきを理解する  期末考査	引用の効果をふまえて自分の「折々のことば」を見つけ、記録する。	<行動の観察/記述の確認/定期考査>
1	他の構成・表現形式と比較しながら、その妥当性や効果を評価する力、表現行為を行いながら、相手の反応や状況に応じてより良いものに改善する力を養う。	「檻の中の“街”」 「小さな哲学者」 「多様な意見に触れる ーパネルディスカッション」 「ありのままの世界は見えない」 「ものことば」 「情報を活用して説得的に書く ー小論文」	ある事実をもとに未知の事柄を推し量る 情報を関係づけてまとめる 伝えることの意味や方法を理解する 事例と主張の関係を整理する 自分なりの考えをまとめる  期末考査	写真で伝わること、文章で伝わること、写真と文章で伝わること、それぞれの違いを指摘する  「パネルディスカッションの例」にある手順を参考に、司会者となってさまざまな意見を出し合う話し合いを行う。  「パネルディスカッションの例」にある手順を参考に、司会者となってさまざまな意見を出し合う話し合いを行う。  「パネルディスカッションの例」にある手順を参考に、司会者となってさまざまな意見を出し合う話し合いを行う。	<行動の観察/記述の確認/定期考査> <行動の観察/記述の確認/定期考査> <行動の観察/記述の確認/定期考査> <行動の観察/記述の確認/定期考査> <行動の観察/記述の確認/定期考査>
2					
3					

### 3 評価の観点

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<p>【話す・聞く能力】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。</p> <p>【書く能力】 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 ・調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫できるようになる。</p> <p>【読む能力】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p>
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

### 4 評価の方法

「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

「現代の国語」は、高等学校の「国語」の基本的な知識を身につける科目です。作品や課題に積極的かつ主体的に取り組み、自己の能力の可能性を見出してください。そして、実践的な表現活動ができるよう幅広い知識を身につけましょう。

令和4年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 1年 1～8組
教科書	高等学校精選言語文化(第一学習社)	副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 完全マスター古典文法(第一学習社) 漢字ボックス(浜島書店)

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	羅生門(芥川龍之介)	・近代の代表的な小説を読み、基本的な読解方法を習得しよう。	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
5	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古文の学習	・古文を学習する意義を知り、今後の学習に生かそう。  中間考査	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	行動の観察 記述の確認 定期考査
6	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	児のそら寝 古文を読むために1	・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解しよう。	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
7	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	漢文に親しむ 故事成語 「蛇足」	・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に生かそう。  期末考査	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらき意味再読文字の種類と読み方を習得する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
9	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	なよ竹のかぐや姫	・古文に親しみ、話の構成や展開を把握しよう。	・用言の活用について理解し、学習の見直しをもって活用形を調べようとしている。 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。	行動の観察 記述の確認 定期考査
10	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	故事成語 「狐借虎威」	・漢文訓読の基本事項を確認し、故事成語に関心を持つよう。  中間考査	・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査

11	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	伊勢物語	・歌物語の特徴と読み解き方を理解しよう。	・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
12	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	短歌「その子二十」	・短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わおう。 期末考査	・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しむ。	行動の観察 記述の確認 定期考査
1	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	徒然草	・古文の随筆を読み、人間・社会などに対する作者の考え方を読み取ろう。	・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞について理解し、口語訳に生かす。	行動の観察 記述の確認 定期考査
2	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	十八史略「完璧」	・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 期末考査	・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取る。	行動の観察 記述の確認 定期考査
3					

### 3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	<p>【話す・聞く能力】 目的や場面に応じて、的確に話を聞き取ったり、自分の考えを深め、発展させている。</p> <p>【書く能力】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【読む能力】 現代文・古文・漢文の文章を、的確に読み取ったり、目的に応じて深く読んだりして、自分の考えを発展させている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

高等学校の「国語」の基本的な知識を身につける科目です。作品や課題に積極的かつ主体的に取り組む、自己の能力の可能性を見出してください。そして、実践的な表現活動ができるよう幅広い知識を身につけましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	1年1～8組
教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院)	副教材等	新詳高等地図(帝国書院)、図説地理資料 世界の諸地域NOW2022(帝国書院)

1 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	1節 地球上の位置と時差	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。</li> <li>現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</li> <li>●地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>●地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。</li> <li>現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</li> <li>●地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
			2節 地図の役割と種類		
	5	第2章 結び付きを深める現代世界	1節 現代世界の国家と領域		
			2節 グローバル化する世界		
	6	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	序説 生活文化の多様性		
			1節 世界の地形と人々の生活		
7		中間考査			
		2節 世界の気候と人々の生活			
第2学期	9	4節 歴史的背景と人々の生活	追究事例 歴史1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。</li> <li>・ラテンアメリカには、さまざまな地域の人々が移り住んできた。多様な文化の融合によって、どのような生活文化が形成されてきたのだろうか。</li> <li>・サハラ以南アフリカでは、植民地支配を受けた国が多い。植民地支配の歴史と人々の生活文化や産業は、どのように関係しているのだろうか。</li> <li>・ロシアはかつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化した。現在は新しい国づくりを進めている。国家体制の変化は、人々の生活や社会にどのような影響を与えてきたのだろうか。</li> <li>●人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきた。産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化してきたのだろうか。</li> <li>・アメリカ合衆国では、世界標準の工業製品が生み出されたり、世界の食を支える農産物が生産されたりしている。この国の産業は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</li> <li>・東アジアは第二次世界大戦後に急速に経済成長が盛んな地域である。中国や韓国などでは、どのような生活文化がみられ、経済成長の影響を受けて、どのように変化しているのだろうか。</li> <li>・ヨーロッパでは、二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合が進められている。EUの統合によって、ヨーロッパの人々の生活文化はどのように変化してきたのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について理解している。</li> <li>●生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について理解している。</li> <li>●人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について理解している。</li> <li>●工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>●企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について理解している。</li> <li>●企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
			追究事例 歴史2		
	10	5節 世界の産業と人々の生活	追究事例 産業1		
			追究事例 産業2		
			追究事例 産業3		
			地域統合が人々の生活や産業に与える影響 - ヨーロッパ		
			中間考査		

第2学期	11	第2章 地球的課題と国際協力	1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</li> <li>●世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</li> <li>●世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>●地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</li> <li>●世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。</li> <li>●世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
	12		期末考査		
学期	月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>●我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</li> <li>●さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</li> <li>●地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>●自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</li> <li>●さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。</li> <li>●地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>●自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
	2				
	3			学年末考査	

### 3 評価の観点

知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
-----------------------------------------------------

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

「地理総合」では、身近な地域や日本各地、世界各地で生起しているさまざまな地理的事象について、「主題」や「問い」を設定し、生徒が「主体的」・「対話的」に学ぶことが求められています。面白いと感じたこと、興味が湧いたことを深く追究し、自らの意見や考えを持ち、他者に発信することや共有することを習慣化できるようにしましょう。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単位数	2単位	学科・学年・学級	1年1～8組
教科書	公共（数研出版）	副教材等	新編 テーマ別資料 公共 2022（東京法令出版）

1 学習の到達目標

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、公正に判断する力や、議論する力を養う。またよりよい社会の実現を視野に、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章公共的な空間をつくる私たち	第1節 青年期と自己形成 第2節 人間としての自覚 第3節 日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解する。</li> <li>先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響を考察する。</li> <li>古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容を主体的に追究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよく生きることについての自覚を深められている。</li> <li>自己形成の課題について考察できている。</li> <li>生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響について気付くことができている。</li> </ul>
	5	第3章公共的な空間における基本原理	第1節 民主社会の基本原則 第2節 日本社会の基本原則  中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>法などの社会規範の役割を理解し、日常生活と関連づけて考察する。</li> <li>日本国憲法で保障されている権利を理解する。</li> <li>国際情勢の変化にともない、日本の平和主義のあり方がどう変化していったのか考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民主政治における国家と個人のあり方が考察できている。</li> <li>身近なところで人権が保障されているか新聞記事などで調べ、報告できている。</li> <li>日本国憲法の基本原則に基づいた社会のあり方について、自分なりに構想できている。</li> </ul>
	6	第4章現代の民主政治と政治参加の意義	第1節 日本の政治機構 第2節 政治参加と民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割を理解する。</li> <li>行政機能拡大の是非について主体的に考察する。</li> <li>選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付き、主権者として参加しようという意欲を持つ。</li> <li>政党の役割を理解する。</li> <li>日本の政治について課題を発見し、解決する見通しが持てる。</li> <li>地方自治の現状と課題を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できている。</li> <li>行政機能拡大の是非について主体的に考察できている。</li> <li>選挙のしくみが理解できている。</li> <li>住民投票など身近な地域で行われている例を調べ、報告できている。</li> <li>模擬投票などの実施により、政党や選挙を身近に捉えることができている。</li> </ul>
7		第5章現代の経済社会と経済活動のあり方	第1節 経済のしくみと市場機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の企業の果たしている役割が理解する。</li> <li>市場経済のメカニズムを理解する。</li> <li>需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察する。</li> <li>市場機構だけでは解決できない経済的課題も多く、市場機構を修正している具体例を指摘でき、自らの生活と結び付けて経済と接する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場経済のメカニズムが理解できている。</li> <li>現代の資本主義経済でケインズ主義の有効な部分と改善すべき部分が判断できている。</li> <li>市場機構だけでは解決できない経済的課題も多く、市場機構を修正している具体例を指摘でき自らの生活と結び付けて経済と接することができている。</li> </ul>
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第5章現代の経済社会と経済活動のあり方	第2節 財政と金融 第3節 日本経済の発展と変化 第4節 豊かな生活と福祉の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府が経済に果たしている役割を理解する。</li> <li>金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示する。</li> <li>GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分で判断する。</li> <li>戦後日本経済のあゆみを理解する。</li> <li>経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しをたてる。</li> <li>私法・契約の原則やその修正について理解する。</li> <li>公害がなぜ発生したのかを考察する。</li> <li>雇用・労働問題や社会保障・福祉の課題について主体的に追究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府が経済に果たしている役割を理解できている。</li> <li>金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。</li> <li>不況や好況など景気の先行きが判断でき、自ら経済の動向を予測できている。</li> <li>消費税や所得税などの税金の使途に関心が持っている。</li> <li>産業構造の変化と職業選択との関係や、中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。</li> <li>経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。</li> <li>経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。</li> </ul>
	10		中間考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	第6章国際社会の動向と日本の役割	第1節国際政治の動向 第2節国際政治の課題と日本の役割 第3節国際経済の動向と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解する。</li> <li>国際連盟・国際連合の組織と役割が理解する。</li> <li>国連の現状と課題について考察する。</li> <li>民族紛争や難民問題など国際政治問題について関心を持つ。</li> <li>発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるか考察する。</li> <li>国際社会の課題について主体的に追究する。</li> <li>外務省や国連のホームページなどを参照し、国際社会や各国の課題を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。</li> <li>冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。</li> <li>集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。</li> <li>国際社会のなかで戦後日本の歩みを考察し、将来の展望を持っている。</li> <li>核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。</li> <li>現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。</li> <li>円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察できている。</li> </ul>
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探究の観点 課題探究の手引き	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想する。</li> <li>さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究する。</li> <li>現代社会の諸問題について、探究するための資料を収集・選択し、的確に分析する。</li> <li>現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できている。</li> <li>現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができている。</li> <li>さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できている。</li> <li>それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができている。</li> </ul>
	2				
	3				
		学年末考査			

### 3 評価の観点

知識・技能	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
主体的に学習に取り組む態度	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

「公共」では、政治・社会の主体となる不可欠な知識を学び、そのための能力を身につけることを目指しています。そして授業のみならず、本やテレビや新聞やインターネット等で新しい情報を積極的に取り入れ、リテラシー（その分野の知識や能力のこと）を身につけましょう。



# 令和4年度 数学科 「数学Ⅰ」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 1年1組～7組 国際人文科 8組
教科書	NEXT数学Ⅰ (数研出版 717)	副教材等	新課程 NEXT 数学シリーズ 対応 CONNECT 数学Ⅰ+A

## 1 学習の到達目標

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	第1章 第1節 式の計算	1. 多項式の加法と減法 2. 多項式の乗法 3. 因数分解	式を扱うための基本的な用語や計算方法について理解する。また、式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなど、目的に応じた式の見方ができるようにし、既に学習した計算方法と関連付けるなど、式を多面的に捉える力を培う。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト
	5	第2節 実数	4. 実数 5. 根号を含む式の計算	中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめて数の体系についての理解を深め、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解する。また、簡単な無理数の四則計算や分母の有理化ができるようにする。	など
		第3節 1次不等式	6. 不等式の性質 7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質をもとに1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象についての問題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。また、絶対値を含む方程式や不等式が解けるようにする。	
			中間考査		
	6	第3章 第1節 2次関数とグラフ	1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ	関数とそのグラフについて理解する。また、2次関数のグラフの特徴について、頂点の平行移動と関連付けて理解し、2次関数のグラフがかけられるようにする。	
	7	第3章 第2節 2次関数の値の変化	3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定	2次関数の最大値、最小値をグラフを用いて求められるようにし、それを様々な事象の考察に活用できるようにする。また、条件から2次関数を決定できるようにする。	
		期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9	第3章 第3節			定期考査 授業での行動観察
	10	2次方程式と2次不等式	5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7. 2次不等式	2次方程式の解について考察し、それを2次関数のグラフとx軸の交点と関連付けて考えることができるようにする。2次不等式も2次関数のグラフとx軸の関係から考察し、2次不等式が解けるようにする。	授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
		中間考査			

	1 1	第4章 第1節 三角比	1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量を行うなど、三角比を事象の考察に活用できるようにする。	
	1 2	第2節 三角形への応用	4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の活用 7. 三角形の面積 8. 空間図形への活用	正弦定理、余弦定理について理解し、それらを適切に用いて三角形の辺や角を求められるようにし、あわせて三角形の面積も求められるようにする。また、これらのことを空間図形を含む様々な事象に活用できるようにする。	
		期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1	第5章	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数	統計の基本的な考えや種々の統計量、特にデータの散らばりや相関を表す量について理解し、それらを用いてデータを分析し、様々な判断ができるようにする。また、仮説検定の考え方を理解し、それをもとにした判断ができるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	2		4. 分散と標準偏差 5. 2つの変量の間関係 6. データの分析を活用した問題解決 7. 仮説検定の考え方		
	3	第2章	1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と証明	集合と命題に関する基本的な概念や用語を理解し、それを用いて命題を証明できるようにする。また、集合や命題の概念を活用して事象を考察できる力を培う。	
		学年末考査			

### 3 評価の観点

知識・技能	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。 その他各教科担当者から定期考査毎に提出物の指示があります。プリントやワークなど、提出指示があったものは必ず忘れずに提出するようにしてください。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

授業に必要なもの 1. 教科書 2. 授業用ノート 3. NEXT数学I+A問題集(解答) 4. 問題集用ノート 5. 筆記用具 ※教科担当者によって授業用ノートの代わりにプリントを活用する先生もいますので、その場合は、各自紙ファイルの購入をしてください。 中学校時代に数学が苦手だった人も丁寧に一から学び直せばすぐに得意教科になります。難易度の高い問題にはセンスが必要なものもありますが、多くの問題はセンスよりも反復が必要です。繰り返し問題を解き、全員数学が得意と呼べるようになりましょう！
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科 1年8組
教科書	科学と人間生活（東京書籍）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な概念や原理・法則を理解する。</li> <li>2. 自然の事物・事象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高める。</li> <li>3. 科学的な自然観を育成する。</li> <li>4. 現在及び将来における科学の課題と身近な人間生活との関わりについて考察し、環境問題などへの理解を深める。</li> </ol>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	科学技術の発展	科学技術の歴史と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や社会、未来と、科学がどのようにつながっているのかを考える。</li> <li>・科学技術の進歩が人間生活にどのような影響をもたらしたかを考え、科学技術が人間生活を豊かで便利にしてきたことや、人間生活に不可欠であることを理解する。</li> <li>・エネルギーや情報技術の発展について調べ、それらと科学技術との関わりについて理解する。</li> <li>・科学技術の発展が今日の人間生活に貢献してきた反面、それによってもたらされた課題があることを知り、持続可能な社会をつくるための取り組みや自分たちにできる活動について調べ、レポートを作成したり発表したりする。</li> </ul>	授業態度 発表 課題提出
	5		エネルギーや情報技術の発展 持続可能な未来のために  中間考査		
	6	生命の科学	微生物とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系における微生物のはたらきと炭素、窒素の循環について理解する。</li> <li>・学んだことを生かして、田畑における肥料の重要性について考える。</li> <li>・微生物を利用して環境の浄化が行われていることを理解し、その利点を考える。</li> </ul>	授業態度 発表 課題提出 小テスト 実験レポート 査査成績
	7		ヒトの生命現象  期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	物質の科学	材料とその再利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型社会を目指す必要性と3Rについて理解する。</li> <li>・金属と非金属の性質の違いを比較して、金属の構造について問題を見いだす。</li> <li>・金属を区別するための方法を考えて実験を計画し、アルミニウム、鉄、銅の性質をさまざまな方法で調べる。</li> <li>・金属の再生利用の基本と、リサイクルマークについて理解する。</li> <li>・プラスチックを区別する方法を考え、いろいろな</li> </ul>	授業態度 発表 課題提出 小テスト 実験レポート 査査成績
	10		衣料と食品  期末考査		

第2学期			中間考査		
	11	光や熱の科学	光の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる物質の境界面で光が反射，屈折するときの法則を理解する。</li> <li>光の波長とスペクトルとの関係について理解する。</li> <li>光が回折と干渉という波特有の性質をもつことを確かめたヤングの実験について知る。</li> <li>光の3原色や人の視覚と関連付けて理解する。</li> </ul>	授業態度 発表 課題提出 小テスト 実験レポート 考査成績
	12		熱の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>温度による水の状態変化を基に，温度による物質の状態変化と原子や分子の動きとの関係について問題を見いだす。</li> <li>熱平衡，熱量，熱容量について理解する。</li> <li>熱の伝わり方には，熱伝導，対流，放射があることを理解する。</li> <li>力学的エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解し，熱現象とエネルギーとの関係について考える。</li> </ul>	授業態度 発表 課題提出 小テスト 実験レポート 考査成績
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	宇宙や地球の科学	太陽と地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>月の見え方とひと月，暦の関係を理解する。</li> <li>潮位のデータを基に，潮位の変化の規則性について考察する。</li> <li>太陽のエネルギー源，太陽活動の変動，太陽の放射エネルギーについて知る。</li> <li>温室効果ガスと温室効果の仕組みを理解し，地球温暖化について考える。</li> <li>大気の大気構造や対流について理解する。</li> <li>気圧分布や大気の流れと各季節の気象との関係を理解する。</li> </ul>	授業態度 発表 課題提出 小テスト 実験レポート 考査成績
	2				
	3	自然景観と自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレート運動により，プレート境界に海嶺や海溝，山脈などができることを理解する。</li> <li>断層運動によって山地と低地ができることを理解する。</li> <li>自然災害と人間生活について考え，自然災害やそ</li> </ul>	授業態度 発表 課題提出 小テスト 実験レポート 考査成績	
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	自然の事物や現象に関して、人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに、知識を獲得する方法についても理解し、適切に利用することができる。自然の事物や現象に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに、自然の事物現象や科学と人間生活の関係を調査研究する方法を身につけ、それらの過程や結果、そこから導き出された考えを的確に表現することができる。
思考・判断・表現	自然の事物や現象に問題を見出し、実験・観察・調査を行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物や現象に関心を持ち、科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して、科学的な見方・考え方を身につけようとする。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。 授業を聞く態度、ノート提出の内容、実験への参加姿勢、実験レポートの提出、考査の成績などで評価する。
--------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

科学に限らず、学問は積み重ねが大事です。一つ一つは易しいのですが三つ四つと重なると解らなくなることがあります。前の時間に学習した内容を整理して授業に臨むことで、理解度が大きく変わります。復習の時間を確保する努力をしてください。試験問題は、授業で扱った内容を基本として作成します。国際社会の一員として他と関わっていく中で、様々な教養が必要になっていきます。その一つとして関心を持って授業に臨んでください。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育 」

単位数	3	学科・学年・学級	普通科 1年1～7組 国際人文科 1年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組める。</p> <p>②自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぶことができる。</p> <p>③中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。</p> <p>④技術の名称や行い方、体力の高め方について理解できる。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論（入学年次） 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	・スポーツの歴史的発展と多様な変化 ・現代のスポーツの意義や価値	・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析
5	球技	バレーボール	・ボールを使ったウォーミングアップ（リフティング・直上パス） ・基本的な個人技術（パス、アタック、サーブ） ・対人練習（1対1、2対2、3対3） ・攻撃の戦術についての話し合い ・試合（ルールを学ぶ） ・学習の振り返り	・行動観察 ・スキルテスト ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析
6		ソフトボール	・キャッチボール ・トスバッティング ・守備練習（基本練習） ・打撃練習 ・ゲーム（試合） ・学習の振り返り	・行動観察 ・行動観察 ・スキルテスト ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード分析
7	球技	ソフトボール	・キャッチボール ・トスバッティング ・守備練習（基本練習） ・打撃練習 ・ゲーム（試合） ・学習の振り返り	・行動観察 ・行動観察 ・スキルテスト ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード分析
9	体育理論	体育理論（入学年次） 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	・スポーツの経済的効果と高潔さ ・スポーツが環境や社会にもたらす影響	・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析
	体づくり運動	長縄	・試しの長縄跳び ・リズムよく跳ぶ ・縄の回し方と跳び方 ・声かけ ・クラスの課題発見 ・体力の限界に挑戦する	・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・記録計測
10	陸上競技	陸上競技	< 競争（短距離走・リレー） > ・50m走（タイムトライアル） ・走フォームとストライド、ピッチ ・バトンパス ・リレー（タイムトライアル） < 競争（ハードル走） > ・ハードリング動作とインターバルの走り ・ハードル走（タイムトライアル） < 跳躍（走り幅跳び） > ・助走と踏み切り ・着地動作 < 跳躍（走り高跳び） > ・助走と踏み切り ・空中動作 ・着地動作 < 投てき（ハンドボール、ジャベリック） > ・フォーム 学習の振り返り	・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・記録計測 ・行動観察 ・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・記録計測 ・記録計測 ・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析
11				
12	陸上競技	陸上競技（長距離）	・準備運動 ・ペース走 ・時間走 ・タイムトライアル ・距離走 ・整理運動、ストレッチ	・行動観察 ・記録計測 ・記録計測 ・記録計測 ・行動観察 ・行動観察

1		バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>・基本的な個人技術（サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ）</li> <li>・実践練習（シングルス、ダブルス）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・スキルテスト</li> </ul>
2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦術およびルール・審判法について学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> </ul>
3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・試合（リーグ戦の運営について話し合う）</li> <li>・学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習カード分析</li> </ul>

### 3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
---------------------------------------------

### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。</li> <li>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</li> <li>③時間を守り集合・整列してください。</li> <li>④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育 」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 1年1～7組 国際人文科 1年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

- ①自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組める。  
 ②自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぶことができる。  
 ③中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。  
 ④技術の名称や行い方、体力の高め方について理解できる。

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論（入学年次） 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	・スポーツの歴史的發展と多様な変化 ・現代のスポーツの意義や価値	・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析
5	陸上競技	陸上競技	< 競争(短距離走・リレー) > ・50m走（タイムトライアル） ・走フォームとストライド、ピッチ ・バトンパス ・リレー（タイムトライアル）	・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・記録計測
6			< 競争(ハードル走) > ・ハードリング動作とインターバルの走り ・ハードル走（タイムトライアル）	・行動観察 ・記録計測
			< 跳躍(走り幅跳び) > ・助走と踏み切り ・着地動作	・行動観察 ・行動観察
			< 跳躍(走り高跳び) > ・助走と踏み切り	・行動観察
			・空中動作 ・着地動作	・行動観察 ・行動観察
			< 投てき(ハンドボール、ジャベリック) > ・フォーム	・行動観察
			学習の振り返り	・学習カード分析
7	球技	バドミントン	・ラリーによるウォーミングアップ ・基本的な個人技術（サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ） ・実践練習（シングルス、ダブルス） ・戦術およびルール・審判法について学ぶ ・試合（リーグ戦の運営について話し合う） ・学習の振り返り	・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析
9	体育理論	体育理論（入学年次） 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	・スポーツの経済的効果と高潔さ ・スポーツが環境や社会にもたらす影響	・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析

	体づくり運動	体づくり運動（長縄）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試しの長縄跳び</li> <li>・ リズムよく跳ぶ</li> <li>・ 縄の回し方と跳び方</li> <li>・ 声かけ</li> <li>・ クラスの課題発見</li> <li>・ 体力の限界に挑戦する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記録計測</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習カード分析</li> <li>・ 記録計測</li> </ul>
10	球技	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールを使ったウォーミングアップ</li> <li>・ 基本的な個人技術（パス、ドリブル、シュート）</li> <li>・ 対人練習（1対1、2対1、3対2）</li> <li>・ 作戦についての話し合い</li> <li>・ 試合</li> <li>・ 学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ スキルテスト</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習カード分析</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習カード分析</li> </ul>
11	陸上競技	陸上競技（長距離）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備運動</li> <li>・ ペース走</li> <li>・ 時間走</li> <li>・ タイムトライアル</li> <li>・ 距離走</li> <li>・ 整理運動、ストレッチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 記録計測</li> <li>・ 記録計測</li> <li>・ 記録計測</li> <li>・ 行動観察</li> </ul>
12				
1	球技	テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>・ 基本的な個人技術（サービス、ストローク、ドロップ、ボレー）</li> <li>・ 実践練習（シングルス、ダブルス）</li> <li>・ 戦術およびルール・審判法について学ぶ</li> <li>・ 試合（リーグ戦の運営について話し合う）</li> <li>・ 学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習カード分析</li> </ul>
2				
3				

### 3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
---------------------------------------------

### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。</li> <li>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</li> <li>③時間を守り集合・整列してください。</li> <li>④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 武道 」

単位数	1	学科・学年・学級	普通科 1年1~7組 国際人文科 1年8組
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組める。</p> <p>②自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぶことができる。</p> <p>③中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。</p> <p>④技術の名称や行い方、体力の高め方について理解できる。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
4	体育理論	体育理論 (入学年次) 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	・スポーツの歴史的発展と多様な変化  ・現代のスポーツの意義や価値	・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析	
5	武道	・剣道	・礼法・所作 ・構え・足裁き ・基本の技と受け方 (面・小手・胴・小手面・小手胴) ・胴・垂の着装 ・引き技と受け方 (引き面・引き小手・引き胴) ・すり足でのパターン練習	行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト	
6			・柔道	・礼法・所作 ・柔道着の着方 ・補助運動 (柔軟運動・補強運動) ・受け身の基本 (後受身・横受身・前回り受身) ・受け身の応用 (後受身・横受身・前回り受身) ・学習の振り返り	行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト スキルテスト 学習カード
7				・スポーツの経済的効果と高潔さ  ・スポーツが環境や社会にもたらす影響	・体育理論新聞 ・行動観察  ・ワークシート分析
9	体育理論	体育理論 (入学年次) 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	・スポーツの経済的効果と高潔さ  ・スポーツが環境や社会にもたらす影響	・体育理論新聞 ・行動観察  ・ワークシート分析	
10	体づくり運動	長縄	・試しの長縄跳び ・リズムよく跳ぶ ・縄の回し方と跳び方 ・声かけ ・クラスの課題発見 ・体力の限界に挑戦する	行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 記録計測	
11	武道	・剣道	・面の着装 ・踏み込み足の打突と受け方 ・切り返し ・連続の切り返し ・踏み込み足でのパターン練習 ・かかり稽古	行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト スキルテスト	
12			・柔道	・対人状態での礼法・所作 ・固め技の抑え方 (袈裟固・横四方固・上四方固) ・固め技の逃げ方 (袈裟固・横四方固・上四方固) ・連続技 (固め技から固め技) ・約束練習 (固め技) ・学習の振り返り	行動観察 スキルテスト スキルテスト 行動観察 行動観察 学習カード

1	武道	・剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応じ技①（払い・抜き）</li> <li>・応じ技②（返し・出端）</li> <li>・連続の応じ技（面に対して・小手に対して）</li> <li>・フェイントの使い方</li> <li>・地稽古</li> <li>・学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>学習カード</li> </ul>
2				
3		・柔道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意技（固め技）を身に付ける。</li> <li>・逃げる相手の返し方</li> <li>・自由練習（固め技）</li> <li>・試合（固め技）</li> <li>・審判法（固め技）</li> <li>・学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> <li>学習カード</li> </ul>

### 3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
---------------------------------------------

### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。</li> <li>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</li> <li>③時間を守り集合・整列してください。</li> <li>④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「保健」

単位数	1	学科・学年・学級	普通科 1年1～7組 国際人文科 1年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1. 学習の到達目標

①テーマについて関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができる。 ②課題解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができる。 ③テーマについての基礎的な事項を理解できる。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	安全な社会生活	事故の現状と発生要因	事故とその被害、発生要因についての理解	行動観察 ワークシート分析
		安全な社会の形成	自他の安全を確保するための行動と安全を確保する社会の取り組みに関する理解	行動観察 ワークシート分析
		交通における安全	交通事故防止のための取り組み、交通事故と運転者の責任に関する理解	行動観察 小テスト
		応急手当の意義とその基本	応急手当の意義やその手順についての理解	行動観察 ワークシート分析
5	現代社会と健康	日常的な応急手当	日常的なけがの応急手当、熱中症の応急手当についての理解	行動観察 ワークシート分析
		心肺蘇生法	心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順についての理解	行動観察 小テスト
		健康の考え方と成り立ち	健康についての多様な考え方と健康の成り立ちとその要因についての理解	行動観察 ワークシート分析
6	現代社会と健康	私たちの健康のすがた	わが国における健康水準の変化、健康問題の変化についての理解	行動観察 ワークシート分析
		生活習慣病の予防と回復	生活習慣病とその種類と各要因に関する理解、また予防と回復についての理解	行動観察 ワークシート分析
7		がんの原因と予防	がんの種類と原因に関する理解、また予防についての理解	行動観察 小テスト
9	現代社会と健康	がんの治療と回復	がんの治療と緩和ケア、生活の質についての理解、がんとともに生きる社会づくりの理解	行動観察 ワークシート分析
		運動と健康	健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成についての理解	行動観察 ワークシート分析
		食事と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成についての理解	行動観察 ワークシート分析
10	現代社会と健康	休養・睡眠と健康	健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方についての理解	行動観察 小テスト
		喫煙と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、日本や世界のたばこ対策についての理解	行動観察 ワークシート分析
11		飲酒と健康	飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策についての理解	行動観察 ワークシート分析
		薬物乱用と健康	薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響、薬物乱用の開始要因と社会問題、薬物乱用による健康被害を防ぐためのさまざまな対策についての理解	行動観察 小テスト

12	精神疾患の特徴	精神疾患の要因と種類に関する理解、精神保健に関する今日的課題への理解	行動観察 ワークシート分析	
	精神疾患の予防	日常生活における精神疾患の予防と早期発見・早期治療に関する理解	行動観察 ワークシート分析	
	精神疾患からの回復	専門家による精神疾患の治療と支援、社会環境整備に関する理解	行動観察 小テスト	
1	現代の感染症	感染症は、時代や地域によって、社会環境や自然環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることについての理解	行動観察 ワークシート分析	
	感染症の予防	感染症予防の原則を理解し、感染症予防のための社会的な取り組みと、個人がおこなう対策についての理解	行動観察 ワークシート分析	
	2	性感染症・エイズとその予防	性感染症、エイズに関する理解とその予防、対策についての理解	行動観察 ワークシート分析
	健康に関する意思決定・行動選択	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意思決定・行動選択を実現する工夫についての理解	行動観察 ワークシート分析	
3	健康に関する環境づくり	健康を保持増進するための環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについての理解	行動観察 ワークシート分析	

### 3. 評価の観点

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
---------------------------------------------

### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>①授業中の板書事項だけでなく、左ページについても回答し、日常的にノート整理に努めてください。</p> <p>②ノートは各学期末に提出します。</p> <p>③日頃から健康や安全に関心を持ち、生涯を通じる健康を目指しましょう。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 令和3年度 芸術科 音楽Ⅰ シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年次 1～7組 国際人文科 1年次 8組
教科書	高校生の音楽1（教育芸術社）	副教材等	

### 1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学 期	① 歌唱に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう  ② アンサンブルの響きを味わって表現しよう  ③ 楽器の響きを味わって表現しよう  ④ 鑑賞	<b>【歌唱】</b> ・校歌 ・ヴォイスレーンガ ・合唱アンソナル  <b>【器楽】</b> ・リズム 「クラッピング・ミュージック」 「木片」 (スティーブ・ライヒ) ・ウクレレ 基本の弾き方 弾き語り  <b>【鑑賞】</b> ・「ボレロ」 他  <b>【楽典】</b> ・音名 ・音程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。</li> <li>・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じ取って表現する。</li> <li>・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。</li> <li>・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。</li> <li>・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。</li> <li>・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。</li> <li>・ 楽器の響きを感じ取り、表現を工夫する。</li> <li>・ 楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。</li> <li>・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。</li> <li>・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。</li> <li>・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。</li> <li>・ 音階やリズムについての理解を深める。</li> <li>・ 音名と音程について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
2 学 期	① 声の響きを味わって、表現しよう  ② アンサンブルの楽しさを学ぼう  ③ 日本の音色に親しみ、特徴を感じ取ろう  ④ 鑑賞	<b>【歌唱】</b> ・「カポ ヌーベン」 ・外国語の合唱曲  <b>【器楽】</b> ・リコーダー ・鍵盤ハーモニカ ・箏 「さくら さくら」  <b>【鑑賞】</b> ・ ショパン ・ シューマン ・ リスト ・ ブラームス ・ チャイコフスキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語や外国語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。</li> <li>・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じ取って表現する。</li> <li>・ アンサンブルの響きを感じ取り、表現を行う。</li> <li>・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。</li> <li>・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。</li> <li>・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。</li> <li>・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。</li> <li>・ 楽器の響きを感じ取り、表現を工夫する。</li> <li>・ 楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。</li> <li>・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。</li> <li>・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。</li> <li>・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。</li> <li>・ 音階やリズムについての理解を深める。</li> <li>・ 曲の個性や雰囲気を作り上げている音楽の諸要素を理解して鑑賞を行う。</li> <li>・ 楽曲の構成など、音楽の諸要素が、どのような働きをしているか聴き取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>

3 学 期	① 歌唱曲に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう ② 楽器の響きを味わって表現しよう ③ 日本音楽の良さを感じよう	<b>【歌唱】</b> ・ 合唱曲  <b>【器楽】</b> ・ 三味線実技講習  <b>【鑑賞】</b> ・ 三味線 ・ 長唄	・ 日本語や外国語に関心を持ち、歌唱曲のよさに触れる。 ・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 ・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・ 日本音楽への興味関心を高め、三味線の基本的な奏法を身につける。 ・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。 ・ 楽器の響きを感じ取り、表現を工夫する。 ・ 楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。 ・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。 ・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。 ・ 音階やリズムについての理解を深める。	・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ 実技試験
-------------	------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

### 3 評価の観点

知識・技能	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。楽曲の構成など、音楽の諸要素がどのような働きをしているか聴き取っている。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。音楽の諸要素を理解し、それらが音楽にどのような変化をもたらしているか感じ取っている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

### 4 評価の方法

<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p>
----------------------------------------------------------------

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。</li> <li>・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。</li> <li>・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。</li> <li>・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 令和4年度 芸術「美術Ⅰ」シラバス

単位数	2 単位	学科・年次・学級	普通科 1年2組~4組,6組,7組 国際人文科 1年8組
教科書	高校美術（日本文教出版）	副教材等	

### 1 学習の到達目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中での美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2 学習の計画

月	題材名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション		・美術の授業を受けるにあたっての心構えをする。	ワークシート
	明暗で捉える	・素描	・対象を観察し、明暗で捉える。 ・鉛筆による素描の方法を理解し、描く。	制作途中の作品、 完成作品
5	ポスタリゼーション	・デザイン ・鑑賞	・写真原稿を使い、形の変わり目で面分割し、5段階の明度で表現する。 ① 写真原稿をトレースし、面で分割する。 ② イラストボードに線を転写する。 ③ ポスターカラーで平塗りする。 ④ 背景を有彩色のポスターカラーで塗る。	制作途中の作品 完成作品 ワークシート
6			・お互いの完成作品を鑑賞する。	
7				
8				
9	紙の表現	・デザイン ・鑑賞	・教科書や市販のポップアップの絵本、カードなどを鑑賞する。 ・紙の加工の基本を学ぶ。	制作途中の作品 完成作品 ワークシート
	ポップアップカードでメッセージを伝えよう	・デザイン ・鑑賞	・ポップアップの基礎的な技法を学び、作る。 ・一見複雑に見えるポップアップも、単純な構造の組み合わせでできていることを知る。 ・テーマを基にポップアップのメッセージカードを作る。 ① テーマを決め、アイデアスケッチをする。 ② スケッチを基に、どの技法を選択するか決定する。 ③ 紙をカットし、アクリルガッシュで着彩する。 ④ カードを閉じた状態も考えて、作った部品を仮留めする。 ⑤ 全体のバランスを見て、微調整をする	制作途中の作品、 完成作品 ワークシート
10			・お互いの完成作品を鑑賞する。	
11				
12	レリーフ彫刻のアイデアスケッチ	・彫刻	・テーマを基にモチーフを決定する。 ・テーマを基に、手前・中・奥の奥行きを意識しながら、彫るための構想を練る。	アイデアスケッチ
1	レリーフ彫刻	・彫刻 ・鑑賞	・アイデアスケッチを基に、手前・中・奥の段階のある半立体表現をする。 ・お互いの完成作品を鑑賞する。	制作途中の作品、 完成作品 ワークシート
2				
3	・まとめ	・鑑賞	・学習カードに、美術Ⅰを終えての振り返りや感想を書き、美術Ⅱへの意欲につなげる。	学習カード

### 3 評価の観点

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

・知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--------------------------------------------------------

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"><li>・誰にでも苦手な課題と得意な課題があるかと思います。しかし、苦手な課題でも、無理だと決めつけずに前向きに取り組みましょう。</li><li>・提出物の期限を必ず守りましょう。</li><li>・「学習カード」を毎回記入しましょう。振り返る習慣や計画する力がつきます。</li></ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科1年34567組 人文科1年8組
教科書	工芸 I	副教材等	

### 1 学習の到達目標

工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション 人間と道具  ○素材と技法 「土」	創作活動としての工芸  ・工芸の形と発想・構想	教科書を使って「工芸 I」の学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。 ・大きさと機能の関係について考察する。 ・発想した事を形にする投影図法、三面図を理解する。	・ワークシート ・活動の様子
	5		陶芸について主な成形方法と工程について学ぶ。  1 アイディスケッチ	【社会的な視点に立ったものづくり】 ・紐作り、手びねり、たたら板等の技法を用いてカップの本体とソーサを制作する。 ・使う人や実際に使用する場面を考えて心豊かな発想をする。アイディアスケッチと設計図を描く。	・ワークシート
			中間考査	なし	
	6		2 成形 3 素焼き 4 釉薬 5 絵付け	・紐造り、手びねり、たたら板等の技法を用いて作る。 ・陶芸室に運び、陶芸窯の様子を知る。 ・釉薬の役割と施釉の方法を理解する。施釉する。 ・粘土の成形だけでなく、表面装飾によっても作品の特徴が出て印象が左右される事を学び、各自の作品に最適な絵付け、施釉をする。	・作品提出
	7		6 本焼き 7 鑑賞	・焼成まで工程を理解し、ワークシートで陶芸についての振り返りを行う。 ・お互いのお互いの作品や工芸作品などの見方や感じ方を深める。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
			期末考査	なし	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	○素材と技法 「編組」	籐かごの制作	【身近な生活の視点に立ったものづくり】 さまざまな素材を生かした編組工芸品について、新たな目で観察し、その優れた特性と機能性を理解し、制作方法を学ぶ。天然素材である籐のよさを味わう。 ・一斉指導により全員に同じ編み方、大きさで底を作り籐の性質や編組工芸の基礎的な技法を理解する。	
	10		1 基礎技法による制作 (底組) 十字組み ～立ち上げ 2 応用技法による自主制作 ・アイディアスケッチ ・設計	・実際に自分の家で使うことを想定し、用途に応じた編み目になるよう考えてかごを作る。	・ワークシート
			中間考査	なし	
	11			・一人一人が作りたいものを発想し、目的や条件を明確にして、材料の持つよさを作品に生かせるようする。 ・装飾的な表現方法を学び、表現する。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出

	12		3鑑賞	・お互いの作品や工芸作品などの見方や感じ方を深める。	
			期末考査	なし	
		○素材と技法「七宝」	七宝焼きのキーホルダー  1アイデアスケッチと型紙の制作	【社会的な視点に立ったものづくり】 社会的な視点に立って使う人や実際に使用する場面を考え、意図に応じて創意工夫し、七宝独特のガラス質の鮮やかな色彩と金属の輝きを融合による作品制作を体験しする。七宝に関する知識と、金属加工を学習する。  ・自己の思いなどから心豊かな発想をする。 ・テーマや課題を把握しデザインする。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		2デザインを写す	・銅板に下絵を転写する(カーボン紙使用)。 ・罫書き針で線を彫る。	・活動の様子 ・ワークシート
			3銅版の切り出し、成形 4裏引き	・手順や技法などを検討して制作をする。 ・裏引きの意味を理解する。 ・裏引き後七宝電気炉の上で乾燥させる。	
	2		5銀線を立てる	・銀線を加工し、銅板に乗せる。 ・炉上で乾燥さ定着させる。	
	3		6釉薬の盛り付け 7焼成 8鑑賞	・釉薬の盛り付け方を理解する。 ・釉薬の盛り付け後は、十分に乾燥させてから焼成する。 ・お互いの作品や工芸作品などの見方や感じ方を深める。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
			学年末考査	なし	

### 3 評価の観点

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能 思考・判断・表現主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

#### 【授業を受けるにあたって守ってほしい事項】

- ・授業は工芸室で行いますので、速やかに移動し、チャイムと同時に始められるよう準備をしてください。
- ・制服が汚れる可能性がある作業のときは、各自判断してジャージやエプロン等の準備をしてきてください。
- ・安全とスムーズな制作のため、作業スペースの整理整頓を心がけましょう。
- ・電動工具を許可なしに使用したり、教室内の物品を無断で持ち出したりしないでください。
- ・材料や工具、作品は、自他のものにかかわらず大切に扱しましょう。
- ・欠席、公欠等があった場合は、早めに次の指示を受けに来てください。
- ・提出物は期限を厳守してください。
- ・作品の未完成、未提出は評価がつかない場合があります。
- ・完成作品は、採点后必ず持ち帰ってください。

#### 【担当者からのメッセージ】

- ・物を見ることやつくることを通して、工芸のよさや楽しさを感じ取り、個性を認め合い、感性を高めることのできるような学習活動を行います。
- ・生活の中で使用するものや環境の改善点、あったらよいと思うものを見つけ出そうとする態度や、使う人の立場に立ってものを見る視点、生活を快適で心豊かなものにしていこうと工夫する心を養いましょう。

## 令和4年度 芸術科「書道Ⅰ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 1年 13567組 国際人文科 1年 8組
教科書	書Ⅰ（教育図書）	副教材等	

### 1 学習の到達目標

<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション	用具用材 書の基礎について 調和よく書いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書道Ⅰ」学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。</li> <li>用具・用材の種類や性能を学ぶ。</li> <li>書写と書道の共通性と相違を理解し、書の世界を知る。</li> <li>姿勢や執筆法の基本を理解する。</li> <li>漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。</li> </ul>	ワークシート
5				行動観察 完成作品
6	漢字の書の学習	楷書の古典 <ul style="list-style-type: none"> <li>九成宮醜泉銘</li> <li>孔子廟堂碑</li> <li>雁塔聖教序</li> <li>顔氏家廟碑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の書体の変遷について学ぶ。</li> <li>古典の意義や拓本について学ぶ。</li> <li>楷書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。</li> <li>各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞し、臨書する。</li> </ul>	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品
7	創作の学習		<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ古典の中から四字を集字し、習得した技法を活かして作品を創作する。</li> <li>各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。</li> </ul>	ワークシート 完成作品 鑑賞
9	仮名の書の学習	仮名の成立 平仮名 変体仮名 仮名の古典 <ul style="list-style-type: none"> <li>蓬萊切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮名の成立と変遷、種類について学ぶ。</li> <li>仮名の書独特の筆づかいや、基本用筆を習得する。</li> <li>仮名の基本用筆やリズムを生かし、単体を習得する。</li> <li>仮名の連綿を練習し変体仮名を習得する。</li> <li>習得した技法を活かした古典の臨書作品を完成させる。</li> </ul>	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品
10	漢字の書の学習	行書の古典 <ul style="list-style-type: none"> <li>蘭亭序</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書古典の臨書学習により、行書の特徴を踏まえ用筆法・運筆法を学ぶ。</li> <li>行書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。</li> <li>王羲之について学ぶ。</li> <li>古典の表現法を理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞し、臨書する。</li> </ul>	ワークシート 作品途中経過 完成作品
11				
12	創作の学習		<ul style="list-style-type: none"> <li>習得した技法を活かして作品を創作する。</li> <li>各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。</li> </ul>	完成作品 鑑賞

1	漢字仮名交じりの書の学習	意図に応じた表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。漢字仮名交じり文の書独特の画面構成を習得する。</li> <li>・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。</li> </ul>	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品
2		自分の表現を目標として	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作の準備と手順を知る。</li> <li>・自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。</li> <li>・自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字仮名交じりで表現方法を工夫し、作品を制作する。</li> </ul>	
3		構成を考える 表現と鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。</li> <li>・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう</li> </ul>	

### 3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現や形、形式、書表現の多様性について幅広く理解している。</li> <li>・書写能力を向上させると共に、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけて表している。</li> </ul>
思考・判断・表現	書の良さや美しさを感じ意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

毎時間の練習を大切に、一枚一枚真剣に取り組んでください。課題により目標が異なるので、その時間の目標をしっかり把握しましょう。よりよい物を目指して頑張ってください。完成の喜びは何物にも代え難い達成感があります。

# 令和4年度 情報科 「情報Ⅰ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年1組～7組 国際人文科 8組
教科書	高校情報Ⅰ Python (実教出版)	副教材等	Pスタディ (Benesse)

## 1 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	オリエンテーション	・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査を行う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技</li> <li>・課題</li> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> <li style="text-align: right;">等</li> </ul>
	5	第1章	1 情報と情報社会 2 問題解決の考え方 3 法規による安全対策 4 個人情報とその扱い 5 知的財産権の概要と産業財産権 6 著作権	<ul style="list-style-type: none"> <li>■情報の特性を考える</li> <li>■メディアの特性を考える</li> <li>■問題解決の考え方を身につける</li> <li>■著作権侵害について考える</li> </ul>	
	6	第3章 デジタル	10 デジタル情報の特徴 11 数値と文字の表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アナログとデジタルの違い、2進法と情報量の単位との関係を理解する</li> <li>■コンピュータによる情報の表現のしくみを理解する</li> </ul>	
	7	期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9	第2章 情報デザイン	7 コミュニケーションとメディア 8 情報デザインと表現の工夫 ADVANCE プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>■メディアの発達、コミュニケーションの形態や特性を理解する</li> <li>■情報機器のパーソナル化とソーシャルメディアの関係性を理解する</li> </ul> ※文書作成、プレゼン、表計算ソフトの基本的な操作方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技</li> <li>・課題</li> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> <li style="text-align: right;">等</li> </ul>
	10				
	11	第5章 問題解決	25 データの収集と整理 26 ソフトウェアを利用したデータの処理 27 統計量とデータの尺度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■データの活用が問題解決に役立つことを踏まえ、データ収集の方法を理解する</li> <li>■数値データ、テキストデータの分析方法を理解する</li> </ul>	
	12	第4章 ネットワーク	17 ネットワークとプロトコル 18 インターネットの仕組み 23 個人による安全対策 24 安全のための情報技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コンピュータネットワークの構成を理解する</li> <li>■データ伝送のしくみとプロトコルの役割を理解する</li> <li>■暗号化などの情報セキュリティを高める方法について理解する</li> </ul>	
12	学年末考査				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1	第3章	13 音の表現 14 画像の表現 15 コンピュータの構成と動作 16 コンピュータの性能	<b>■</b> コンピュータの基本的な構成を理解する <b>■</b> CPUによる演算のしくみを理解する  <b>■</b> アルゴリズムの基本構造を確認し、図や表で表現する方法を知る <b>■</b> 変数、データ型、演算子、関数などプログラムを構成する要素を確認する <b>■</b> 配列など、プログラミングでデータを効率よく利用する方法を理解する <b>■</b> グループ分けプログラムの作成手順を見ながらプログラミングの方法を理解する	・実技 ・課題 ・提出物 ・定期考査 等
	2	第6章 プログラミング	ADVANCE データの圧縮と効率化		
	3		30 アルゴリズムとプログラミング 31 プログラミングの基本 32 配列 33 関数 34 探索のプログラム 35 整列のプログラム		
		学年末考査			

### 3 評価の観点

知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

### 4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p> <p>評価の中心は、定期考査の点数（素点）と授業内に行う実技、課題等になります。しっかり定期考査前はテスト範囲の勉強に取り組み1点でも高い点数を取るようになしてください。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>授業に必要なもの</p> <p>1. 教科書 2. 紙ファイル（安いものA4サイズ） 3. 筆記用具</p> <p>基本的に、難しい問題はありません。基礎的な数学力・英語力が必要な範囲も存在する。 教科として 『情報』＝『数学』×『英語』×『社会』 のような感覚に近いです。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単位数	4単位	学科・学年・学級	国際人文科 1年 8組
教科書	ELEMENT (啓林館出版)	副教材等	ELEMENT I サブノート(啓林館)、英文速読ドリル10minutes 入門(2会) Evergreen English Gramamr 25レッスン updated(いいずな書店) Evergreen(いいずな書店) 英単語ターゲット 1900(旺文社)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すると共に、情報や考えなどを的確に伝えたりする力を一層伸ばし、社会生活に追いついて活用できるようにする。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる。キーワードを見ながら、自分や友人、身の回りについての短いスピーチができる。	Lesson 1 ～ Lesson 2	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	教科書の内容について、主題文を抜き出して、概要を書き表すことができる。	Lesson 1 ～ Lesson 2	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態					○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
5	簡単な情報文の内容や、簡潔な記述文の概要を、特に視覚的な補助があれば、ALTが話す概要を把握することができる。	Lesson 1 ～ Lesson 2	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	1年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM120)	Lesson 1 ～ Lesson 2	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
中間 考查	中間 考查			知 思 態	○	○	○	○	○	4	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度
6	直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる。キーワードを見ながら、自分や友人、身の回りについての短いスピーチができる。	Lesson 3 ～ Lesson 4	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	教科書の内容について、主題文を抜き出して、概要を書き表すことができる。	Lesson 3 ～ Lesson 4	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態					○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
7	簡単な情報文の内容や、簡潔な記述文の概要を、特に視覚的な補助があれば、ALTが話す概要を把握することができる。	Lesson 3 ～ Lesson 4	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	1年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM120)	Lesson 3 ～ Lesson 4	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
期末 考查	期末 考查			知 思 態	○	○	○	○	○	4	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べることができる。教科書の内容について、キーワードを見ながら、概略を伝えることができる。	Lesson 5 ～ Lesson 6	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	教科書の内容について、一部パラフレーズしながら、概要を書いたり、辞書を使いながら感想を書いたりすることができる。	Lesson 5 ～ Lesson 6	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態					○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
10	初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等聞いて、その概要を50%程度理解することができる。	Lesson 5 ～ Lesson 6	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	1年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM120)	Lesson 5 ～ Lesson 6	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○	○	○	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
中間 考查	中間 考查			知 思 態	○	○	○	○	○	4	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度

11	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べることができる。教科書の内容について、キーワードを見ながら、概略を伝えることができる。	Lesson 7 ～ Lesson 8	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	教科書の内容について、一部パラフレーズしながら、概要を書いたり、辞書を使いながら感想を書いたりすることができる。	Lesson 7 ～ Lesson 8	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
12	初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。	Lesson 7 ～ Lesson 8	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○ ○ ○	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	1年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM120)	Lesson 7 ～ Lesson 8	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○ ○ ○	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
期末 考查	期末考查			知 思 態	○ ○ ○	● ● ●	● ● ●	● ● ●	4	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度

### 第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べることができる。	Further Reading1, 2	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	教科書の内容について、キーワードを見ながら、概略を伝えることができる。	Further Reading1, 2	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
2	教科書の内容について、一部パラフレーズしながら、概要を書いたり、辞書を使いながら感想を書いたりすることができる。	Further Reading1, 2	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。	Further Reading1, 2	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○ ○ ○	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
3	1年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM120)	Further Reading1, 2	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知 思 態	○ ○ ○	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
学年 末 考查	学年末考查			知 思 態	○ ○ ○	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	4	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について話された文等を聞いている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について書かれた文を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身につけている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

評価の方法	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3観点から評価基準に従い、総合的に評価する。
-------	--------------------------------------------------

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業内での活動に、積極的に取り組んでください。</li> <li>文法や単語の知識は、コミュニケーションを支える大切な要素です。しっかり勉強し、それらを実際のコミュニケーションの場面で積極的に使ってみましょう。</li> <li>とにかく、英語の学習を楽しみましょう。英語を使いこなす未来の自分をイメージしましょう。</li> </ol>
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科 1年 8組
教科書	Smart CHOICE (Oxford University Press)	副教材等	英語の発音が正しくなる本 (ナツメ社) 等

1 学習の到達目標

リスニング能力の向上を基本とし、同時に正しい発音の基礎を身につけ、スピーキング能力も養う。発音記号を習得し、辞書を見て自分で英単語を読めるようになる。  
 会話特有の表現を理解し、場面に合わせて使えるようになる。  
 スキットや発表、ペアワークを通して、外国の文化や日本とは異なった習慣・考え方を知り、理解する。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	・発語がはっきり、ゆっくりとした発音ならば、直接的な優先事項の領域(個人、家族の情報、買い物、地理、仕事)に関連した句や表現を理解することができる。(聞く)	Unit1・Unit2	○日常会話を聞いて内容把握する	知	○	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題
	・道路、レストラン、鉄道の駅などの日常の看板や掲示を理解することができる。(読む)		○日常表現を用いて会話練習をする	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる。(やりとり)		○母音の発音方法を習得	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・人物や場所について、単純な語句を並べて、述べる(発表)		○個人的な具体的情報について書く	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
5	・50語程度の自己紹介を書くことができる。書面で個人的な具体的情報を求めたり、伝えることができる。(書く)	Unit3~Unit5	○人物や場所について、グループで発表しよう	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・発語がはっきり、ゆっくりとした発音ならば、直接的な優先事項の領域(個人、家族の情報、買い物、地理、仕事)に関連した句や表現を理解することができる。(聞く)		○母音・子音の発音方法の習得	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・道路、レストラン、鉄道の駅などの日常の看板や掲示を理解することができる。(読む)		○日常会話を聞いて内容把握する	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる。(やりとり)		○日常表現を用いて会話練習をする	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
6	・人物や場所について、単純な語句を並べて、述べる(発表)	Unit3~Unit5	○個人的な具体的情報について書く	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・50語程度の自己紹介を書くことができる。書面で個人的な具体的情報を求めたり、伝えることができる。(書く)		○人物や場所について、グループで発表しよう	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・発語がはっきり、ゆっくりとした発音ならば、直接的な優先事項の領域(個人、家族の情報、買い物、地理、仕事)に関連した句や表現を理解することができる。(聞く)		○母音・子音の発音方法の習得	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・道路、レストラン、鉄道の駅などの日常の看板や掲示を理解することができる。(読む)		○日常会話を聞いて内容把握する	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
7	・直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる。(やりとり)	Unit3~Unit5	○日常表現を用いて会話練習をする	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・人物や場所について、単純な語句を並べて、述べる(発表)		○個人的な具体的情報について書く	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・50語程度の自己紹介を書くことができる。書面で個人的な具体的情報を求めたり、伝えることができる。(書く)		○人物や場所について、グループで発表しよう	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・発語がはっきり、ゆっくりとした発音ならば、直接的な優先事項の領域(個人、家族の情報、買い物、地理、仕事)に関連した句や表現を理解することができる。(聞く)		○母音・子音の発音方法の習得	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
期末考査				知	○	○	○	○	6	・授業内容の理解度 ・初見問題の正答率	

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	・初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。(聞く)	Unit6・Unit7	○母音・子音の発音方法の習得	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・広告やパンフレット、また海外の学校での掲示物の概要を理解することができる。(読む)		○日常会話を聞いて内容把握する	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・簡単な表現や決まり文句を使って、何かに誘ったり、会う日時や場所を決めたりすることができる。(やりとり)		○日常表現を用いて会話練習をする	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・外国の人に、日本や学校、家族などに関する基本的なことを、即興で伝えることができる。(発表)		○個人的な具体的情報について書く	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
10	・時間の流れに沿って、事実や感想などを日記に書くことができる。(書く)	Unit6・Unit7	○人物や場所について、グループで発表しよう	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。(聞く)		○母音・子音の発音方法の習得	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・広告やパンフレット、また海外の学校での掲示物の概要を理解することができる。(読む)		○日常会話を聞いて内容把握する	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・簡単な表現や決まり文句を使って、何かに誘ったり、会う日時や場所を決めたりすることができる。(やりとり)		○日常表現を用いて会話練習をする	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
11	・外国の人に、日本や学校、家族などに関する基本的なことを、即興で伝えることができる。(発表)	Unit8~	○個人的な具体的情報について書く	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。(聞く)		○母音・子音の発音方法の習得	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・広告やパンフレット、また海外の学校での掲示物の概要を理解することができる。(読む)		○日常会話を聞いて内容把握する	知	○	○	○	○	3	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
	・簡単な表現や決まり文句を使って、何かに誘ったり、会う日時や場所を決めたりすることができる。(やりとり)		○日常表現を用いて会話練習をする	知	○	○	○	○	6	・授業の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	

12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な表現や決まり文句を使って、何かに誘ったり、会う日時や場所を決めたりすることができる。(やりとり)</li> <li>・外国の人に、日本や学校、家族などに関する基本的なことを、即興で伝えることができる。(発表)</li> </ul>	Unit10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人的な具体的情報について書く</li> <li>○人物や場所について、グループで発表しよう</li> </ul>	知	思	態	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の流れに沿って、事実や感想などを日記に書くことができる。(書く)</li> </ul>		知	思	態	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>	
期末 考查				知	思	態	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の理解度</li> <li>・初見問題の理解度</li> </ul>

### 第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。(聞く)</li> </ul>	Unit11・ Unit12	○母音・子音の発音方法の習得	知	思	態	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告やパンフレット、また海外の学校での掲示物の概要を理解することができる。(読む)</li> </ul>		○日常会話を聞いて内容把握する	知	思	態	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な表現や決まり文句を使って、何かに誘ったり、会う日時や場所を決めたりすることができる。(やりとり)</li> <li>・外国の人に、日本や学校、家族などに関する基本的なことを、即興で伝えることができる。(発表)</li> </ul>		○日常表現を用いて会話練習をする	知	思	態	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の人に、日本や学校、家族などに関する基本的なことを、即興で伝えることができる。(発表)</li> </ul>		○個人的な具体的情報について書く	知	思	態	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の流れに沿って、事実や感想などを日記に書くことができる。(書く)</li> </ul>		○人物や場所について、グループで発表しよう	知	思	態	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>			
			○映画の会話表現を聞き取り、映画のシーンを再現する	知	思	態	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・課題</li> </ul>			
学 年 末 考 査	学年末 考查			知	思	態	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の理解度</li> <li>・初見問題の正答率</li> </ul>			

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・ 技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた文を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えよう技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身につけている。
思考・ 判断・ 表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合うやり取りをしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。
主体的に 学習に 取り組む 態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

評価の方法	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
-------	-----------------------------------------------------

<b>担当者からのメッセージ</b> (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 和訳はしません。日本語を介さずに理解する練習をしましょう。</li> <li>2 新しい表現をどんどん吸収し、どういう場面で用いるのかを意識して練習しましょう。</li> <li>3 日常会話のスピードに慣れましょう。授業でできる時間は限られています。家庭で毎日練習しましょう。</li> <li>4 英語は技能教科です。英語の勉強でなく、英語の練習をしましょう。読む練習・聞く練習・話す練習・書く練習。</li> <li>5 授業中言えなかった表現は、次こそは言えるよう、メモをとる癖をつけましょう。</li> </ol>
-------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 国際教養「人文基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	国際人文科 1年8組
使用教科書	高等学校標準国語総合（第一学習社） 高等学校公共（数研出版）	副教材等	教科担当者作成プリント

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の生き方、人間が作り出した社会、さらには人間と環境との関係について理解を深めさせる。「知識及び技能」</li> <li>・人間の生き方、人間が作り出した社会、さらには人間と環境との関係について理解を深めた上で社会生活においてそれを円滑に活用できるようにする。「思考力、判断力、表現力等」</li> <li>・国際社会に主体的に生きる日本人としての必要な資質を育成する。「学びに向かう力、人間性等」</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学習の計画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	<p>社会人としての在り方、人間としての生き方について関心を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「表現」を通して自己を見つめよう。</li> </ul>	<p>以下の学習活動を通して、正確に読み、論理的に考え、的確に表現する練習を繰り返し、思考を整理する型を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を表現する</li> <li>・感想を述べる</li> <li>・意見を述べる</li> <li>・「考え方」の練習</li> <li>・正しい表現、適切な表現の練習</li> <li>・「新書」を読む</li> <li>・論文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・発表、記述、課題レポートの確認</li> <li>・小論文の成績</li> </ul>
6 7	<p>社会的事象に対して自己の考えを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の出来事を様々な視点で見つめ、考え、意見交換しよう。</li> </ul>	<p>「表現の型」を身につける練習を繰り返して身につける。さらに以下の学習活動を通して情報に基づいて小論文を書く練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学先を調べる</li> <li>・新しいニュースを知る</li> <li>・「問題点」を見つける</li> <li>・「反論」してみる</li> <li>・小論文の型を理解し、書いてみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・発表、記述、課題レポートの確認</li> <li>・小論文の成績</li> </ul>
9 10	<p>現代人を取り巻く環境を自分の言葉で把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会を考察するためのキーワードを見つけ、広い視野で考え、ディベートする準備をしよう。</li> </ul>	<p>以下の学習活動を通して、班単位でディベートの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論文を読み、要約する</li> <li>・資料を集め、分析する練習</li> <li>・賛成、反対の理由探し練習</li> <li>・討論の仕方、注意事項の理解</li> <li>・ディベートのテーマ探し</li> <li>・発表内容を決める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・発表、記述、課題レポートの確認</li> <li>・小論文の成績</li> </ul>
11 12	<p>社会の課題の共有と、そのために必要な事項を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を述べ、聞き、質問し、常に主体的であるよう練習しよう。</li> </ul>	<p>ディベートを行う中で、以下について意識づけられるよう 反復練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力ある発表の仕方</li> <li>・聞かせる技術、話させる技術</li> <li>・話を聞き、要約する技術</li> <li>・効率よい共同作業のあり方</li> <li>・相互評価のあり方</li> <li>・個人の新たな研究課題の発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・発表、記述、課題レポートの確認</li> <li>・小論文の成績</li> </ul>

1	<b>総合演習</b> ・1年間の学習内容を復習し、主体的に学習する意欲を向上させよう。	オリジナルテーマの論文を作成し発表する活動を通して、以下の点を意識し、自力による課題の発見・解決が可能になるよう学習する。	・行動の観察 ・発表、記述、課題レポートの確認 ・小論文の成績
2			
3			

- ・自分の関心あるテーマの設定
- ・論文の組み立て、調査方針の立て方
- ・図書館の活用の仕方
- ・情報の扱い方 ・小論文と論文の違い
- ・論文の書き方
- ・プレゼンテーション演習
- ・相互評価の姿勢

### 3 評価の観点

知識・技能	現代社会の諸課題やそれに関連する情報を的確に把握し、それらに関する問いを自らたてようとするとともに他者の意見を聞き入れ、正当に批評し、共同してその解決のためにできることを見出そうとしている。
思考力・判断力・表現力	自分の視点と他者の視点に違いがあることを踏まえ、他者のそれを正当に評価し、自分の考えをも発展させ、それをディベートや論文などの場面に応じて適切に表現している。
主体的学習に取り組む態度	調べ学習、論文作成、ディベート、プレゼンテーションなどへの取り組みを充分に行っている。

### 4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

まずは与えられた課題を一つ一つ丁寧に仕上げることです。提出すべきものは期限・方法を守って提出しましょう。苦手なこともあるでしょうが、そうした取り組みから実力は養成されます。成績評価のためだけではなく、自らの人間力を高めるのだという向上心を持って授業に臨んでください。